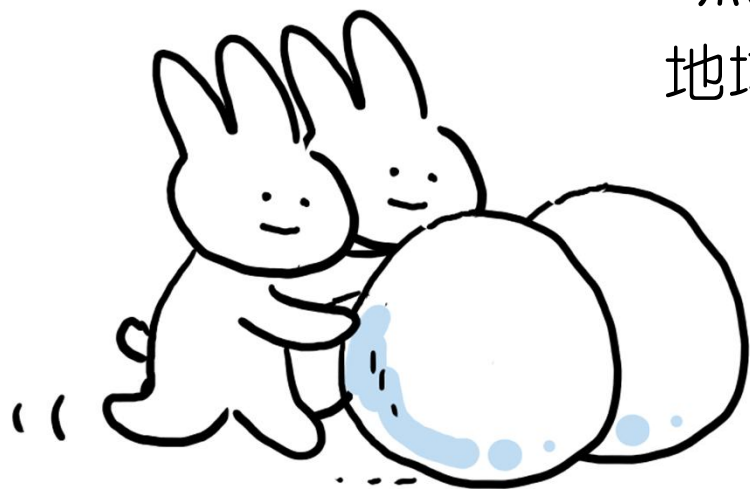




令和7年度 地域振興に向けた取組

魚沼地域振興局
地域振興グループ



はじめに

地域振興事業の取組

地域振興局では、地域の課題解決や産業振興を目指した事業を企画し、管内の市・町や事業者とも連携しながら取り組んでいます。

広域枠

南魚沼局、魚沼局、十日町局の3局で推進していく事業のほか、隣接県とも連携して展開する事業です。

一般枠

魚沼局単独で取り組む事業です。





魚沼地域連携サイクルツーリズム推進事業

令和3年3月に、官民による「湯沢町・南魚沼市・魚沼市連携自転車活用推進協議会」が設立され、魚沼地域に点在する地域資源を自転車で結ぶモデルルート「雪国魚沼 Golden Cycle Route (GCR)」を設定し、ナショナルサイクルルート(NCR)指定に向け、走行環境・受入環境整備や機運醸成に広域的に取り組んできました。

令和8年3月には、NCRの次期候補ルートとして公表されたことから、引き続き官民連携によるスケールメリットを活かした施策を展開していきます。



✓わくわくサイクルパークの開催

9/13「南魚沼サイクルフェスタ」にあわせて、自転車の試乗体験やトークショーなど、自転車の楽しさを体感するイベントを開催しました。



✓GCRチラシ・ポスター作成

NCR第3次候補ルート指定を踏まえ、PRを強化するためチラシ・ポスターを作成しました。



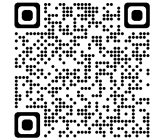
✓サイクルモード東京への出展

日本最大級のスポーツ自転車イベントで、久比岐自転車道・サドイチと連携して雪国魚沼GCRのPRを行いました。



✓シンポジウムの開催

サイクルツーリズム推進の事例を学ぶため、先進地から講師を招き、関係者向けの向けにシンポジウムを開催しました。



雪国の自然・文化に根差した魅力発信と付加価値創出事業

「リトリート」とは日常から離れ、自分と向き合い心と身体をリラックスさせるために、ゆったりとした時間を過ごすこと。

従来の観光資源だけでなく、雪国観光圏エリア7市町村ならではの自然・文化・暮らし・体験などの地域資源をリトリートの魅力的なプログラムとして有効活用した新しい旅の形を、官民一体となって創り上げています。



各地域の魅力的なプランを随時販売中です！
公式HP：<https://snow-country.jp/retreat/>

今年度は、新規参画事業者のガイド力向上と事業理解を深めるために実地研修兼磨き上げ体験会を各地で行いました。またガイド参画に向けた基礎知識の習得及び雪国文化そのものに対する理解を深めるため、「雪国文化勉強会」を計4回開催しました。

来年度は、より雪国文化への理解を深めるため勉強会やシンポジウムを実施します。



福島県との連携による魚沼地域魅力発信事業

福島県との連携により、JR只見線沿線を含めた魚沼広域エリア情報を発信することにより、魚沼地域の認知度向上による観光交流人口の拡大に取り組んでいます。

Instagram「uonu_magical(うおぬマジカル)」で魚沼エリアの旬の魅力発信、福島県との共催による只見線沿線地域初のピールオフイベント・只見ふるさとの雪まつりへの共同出店を実施しました。

小出駅前～魚沼市中心市街地を周遊するスタンプラリーの実施により、只見線の乗客等も含め魚沼市中心市街地への誘客推進に取り組みました。

ボード

JR越後須原駅

JR会津柳津駅



■ノベルティグッズ(ミニポーチ)



■QUOカードpay(グラフィックデザインのみ)



只見線界隈ピールオフ

- JR越後須原駅、JR会津柳津駅の2駅で実施
- ノベルティは両駅とも300個ずつ用意
- 「うおぬマジカル」と只見線公式Instagram「只見線ポータル」でインスタキャンペーン実施
- インスタ全体閲覧数は約2.8万を記録

小出駅まちなか周遊スタンプラリーガチャ

- スタンプの設置場所は「富士屋」「セキノヤ」「はこいで」の3か所
- 一人1日1回までガチャを回して賞品を獲得
- 参加者は370人超
- 市外からは関東圏の参加者が多数



雪国魚沼 Golden Cycle Route 走行環境整備事業

地域整備部では、「雪国魚沼 Golden Cycle Route」の県管理道路について、自転車走行の注意喚起が必要な箇所や自転車走行時の危険箇所等の対策を図り、自転車利用者が安全にサイクリングを楽しめる走行環境整備に取り組んでいます。令和7年度は、矢羽根型路面案内標示、注意喚起表示板、及び案内看板の設置を行いました。



【矢羽根型路面標示とは…？】

自転車通行空間を示す路面標示のことで、自転車利用者とドライバーの双方に、自転車通行ルールを分かりやすく伝えるとともに、自転車通行空間を実質的に確保し、自転車利用者の安全性を向上させるものです。

地域整備部では、令和7年度は県道351号の一部区間を含む126箇所に矢羽根型路面標示を設置しました。

尾瀬&レトロによる湯之谷温泉郷魅力向上事業

湯之谷温泉郷は新潟県側から尾瀬へと続くルートの玄関口として、また新潟県内有数の温泉地として賑わいを見せていましたが、昨今では旅行スタイルの変化などによる観光入込客数の減少傾向が進んでいます。

このような現状を踏まえ、官民共同で尾瀬ルート活性化委員会を組織し、新潟県側から行く尾瀬ルートの整備、また大湯温泉街に残るレトロな景観を活用したまちづくりにより、賑わいの再生に取り組んでいます。

令和7年度は、昭和・平成レトロを体験可能な店舗「魚沼レトロ商店」を中心に、レトロをフックとした誘客に取り組み、魚沼から行く尾瀬ルートのPRソング（御当地ソング）等も制作しました。



新潟県側からの尾瀬へのルート（小沢平登山道）の整備による登山客の誘客活動

大湯温泉街のすずらん通りで魚沼レトロ商店を運営（原則日祝営業）し、2,313人が来店。尾瀬フェア等県内外でPR活動を展開した。

魚沼観光エリアガイド養成事業

魚沼ルートは新潟県側唯一の尾瀬入山ルートですが、近年は入山者が減少し、ルートの基盤となる遊覧船とバスの路線維持が課題となっています。このため、ガイドの確保によるツアーの付加価値を向上し、誘客を図っていく必要があります。

また、只見線の待ち時間の有効活用を図るためのまち歩きや、滝雲など特色ある観光資源、森林環境税の導入に伴い今後需要が高まる森林学習ガイドなど、新たな観光需要に対応したガイドの整備について継続的に検討します。

令和7年度は尾瀬ガイド養成を実施したほか、駅周辺のグルメやお出かけスポットを情報提供するアプリ「ekinote（エキノート）」を活用し、駅を起点とした情報発信を引き続き行いました。

参加者募集

尾瀬ネイチャーガイド養成講座

尾瀬自然ガイド協会の合格を目指し、尾瀬の自然や歴史、ガイドの仕事について学ぶ講座です。試験合格後は、尾瀬ネイチャーガイドとして活躍していただくことを目的としています。

尾瀬が好きで、自然が好きな方
ガイドの仕事に興味がある方大歓迎！

開催日 座学5回、現地研修2回(尾瀬・里山)、救命講習1回

2025年 全8回 **募集人数 10名**

- ① 9月4日(木) [初回・座学]
- ② 9月20日(土)～21日(日) [現地研修]
(魚沼→沼山峠→尾瀬沼→見晴(泊)→雄鷹林道→御池→魚沼)
- ③ 10月2日(木) [座学]
- ④ 10月16日(木) [座学]
- ⑤ 11月1日(土) [現地研修] 里山日帰り
- ⑥ 11月8日(土) [研修] 救命講習
- ⑦ 11月13日(木) [座学]
- ⑧ 11月27日(木) [座学]

座学時間：19時～21時
座学会場：魚沼市地域振興センター 2階 中会議室 (新潟県魚沼市吉田1144)

参加費 18,000円 程度
(テキスト代、現地研修代)

詳細はチラシ裏面もしくはウェブサイトをチェック！

全国鉄道駅
約9,100駅
の街の情報掲載！

はじめて行く駅のこと
がわかる
行ってみたい街が見つかる

あなたが旅した
軌跡を残そう

全国の駅に「チェックイン」！
スタンプラリーも順次開催！

駅についたら
ekinote

今いる駅と街のことが
すぐにわかる！

イベント、グルメ、観光など
駅のまわりの情報を
まとめて読める！

グルメ

観光

時刻表

イベント

Web記事

複数ある尾瀬へのルートの中から魚沼ルートが選択されるためには、ツアーガイドによる魅力向上等の付加価値が必要となっています。引き続き尾瀬ガイド養成講座を開講し、ガイドの育成・確保を図っていきます。

新たな観光需要に対応したガイドについてはアプリの活用等も含めて様々な手法を継続的に検討していきます。

只見線沿線地域魅力アップ事業

「だんだんど～も只見線沿線元気会議」に参画し、沿線住民や近隣団体と一体となった取組や、来訪者への観光案内・地域製品の販売、沿線地域の魅力アップ・沿線地域への誘客に取り組んでいます。

J R東日本・だんだんど～も只見線沿線元気会議・魚沼市・県等で協議し、新たな沿線地域の魅力発信の取組として、J R越後須原駅の駅舎利活用を開始

駅舎内に魚沼杉を使用して作製された机・椅子・パンフレットスタンド等を設置したほか、只見線沿線地域の写真等を展示し、住民と観光客の交流スペースを整備

令和7年10月にJ R越後須原駅の交流スペースが本オープンし、記念式典を開催しました。



オープンセレモニーの様子



只見線等魚沼市内の写真展示



只見線応援雪灯りの様子

オープンセレモニーにはJ R東日本越後湯沢駅長、魚沼市北部事務所長（市長代理）、魚沼市議会議長、県議会議員、只見町副町長（町長代理）等が出席しました。

交流スペースの愛称は「ゆきヒカリ」に決定し、越後須原駅の来訪者数は年間で3,200人を超えました。

中心市街地活性化事業

魚沼市中心市街地は医療、福祉、商業などの都市機能が集積する住宅市街地であり、ＪＲ只見線・上越線の小出駅や魚沼ＩＣ等に近接しているものの、商店街では空き店舗や空き地が増加し、空洞化・活力の低下が進行しています。

魚沼市等との連携により、魚沼市中心市街地の活性化に取り組んでいます。

令和７年度は中心市街地活性化のため、イベント「跳び箱教室＆マウンテン３０」を開催しました。

チラシ



イベントの様子



SNSでの発信

合同会社ラボうおぬまが
運営するボックスショップ
「はこいで」の
Instagramでの発信



イベントには地元事業者の飲食・ボードゲーム等のブース出店もあり、来場者数は350人を超えました。

サイクルロゲイニング『魚沼八十八』

管内では、宿泊・観光で訪れた際の二次交通の整備に課題がありますが、二次交通が不要となるライダー向けの取組・誘客が行われ、一定の成果が出ています。

魚沼市観光協会等との連携により、ライダー向け情報発信ネットワークを活用するとともに、自前の自転車を持ってくる本格的なサイクリストや数時間程度市内を周遊するライト層に働きかけ、幅広い来訪者の消費拡大を図りました。

令和7年度は、魚沼市八十八景に選定された文化、風俗にちなんだ観光ポイントやグルメポイント等を周遊して、ポイントを獲得するサイクルロゲイニングの整備に取り組みました。

チラシ



マップ（各ポイント特徴）



マップ（ポイントマップ）



チラシ（楽しみ方説明）



チラシ（簡易マップ）

SNSでの発信



○魚沼市八十八景に認定された場所の他、寺社、公園から食事処、お休み処まで幅広く選定しました。サイクリスト割の協力店舗では、参加者が立ち寄り経済活動が期待できるポイントとなりました。

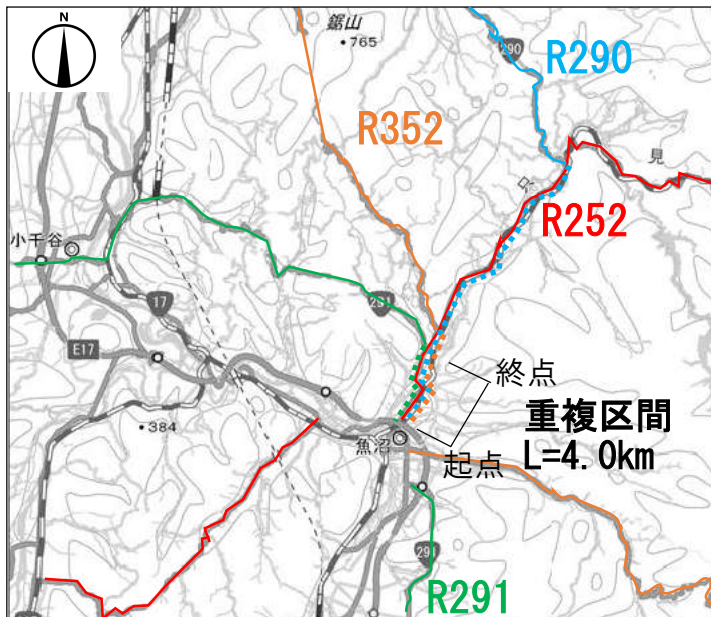
○魚沼市観光協会の公式Instagramでの発信

重複国道の標識設置事業「四連おにぎり」

魚沼市四日町から並柳までの区間は、国道252号、国道290号、国道291号、国道352号の4路線が重複する全国的にも珍しい事例があります。

魚沼地域整備部では、4路線番号を四連標識として標示することで希少性をアピールするため、観光資源の一つとして整備しました。

道路路線図



(電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成)

整備状況



着手前



完了

一般国道352号枝折峠道路環境改善事業

国道352号の枝折峠は、秋の紅葉や滝雲が美しいとして知られ、自然景観が織りなす風景を求め、毎年多くの観光客が訪れています。一方で、ハイシーズンには駐車場が満車となり、国道352号に違法駐車が生じている状況が続いていました。

魚沼地域整備部では、国道352号での違法駐車を抑制し道路環境改善を図ることで、自然景観の保全と観光交流人口の誘客に取り組みました。

位置図



整備状況



滝雲シャトルバスルート図

(出典:魚沼市観光協会HP)

「第2回魚沼オクトーバーフェスト」

魚沼市の市制施行20周年を記念し、魚沼の誇る食文化と日本のクラフトビール発祥の地である本県のブルワリーを繋ぐイベントとして、令和6年度に第1回魚沼オクトーバーフェストが開始されました。

第1回の成功を踏まえ、第2回魚沼オクトーバーフェストを開催したところ、前回は上回る約1,200人が来場し、住民や観光客が魚沼の料理と本県クラフトビールとのペアリング等を楽しみました。また、今回も来場者から大きな反響があったため、派生イベントとしてクリスマスマーケットを12月20日に同会場にて開催しました。

【内容】

- ・本県のブルワリーのクラフトビール等酒類、ソフトドリンクの販売
- ・魚沼の飲食店によるクラフトビールとのペアリングに適した食品等の販売

令和7年10月4日にまちの駅魚沼前にて魚沼オクトーバーフェストを開催しました！



会場の様子



ステージイベント



クリスマスマーケット

主催：魚沼オクトーバーフェスト実行委員会

後援：県魚沼地域振興局・県観光協会・魚沼市・魚沼市観光協会・魚沼市商工会